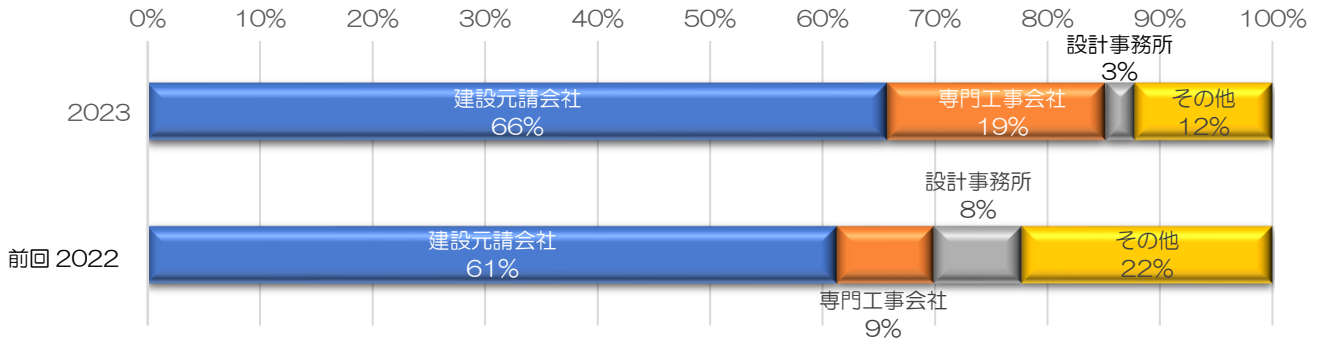


「日建連 BIM セミナー2023」アンケート結果

アンケート回収数：310 、回収率：27%

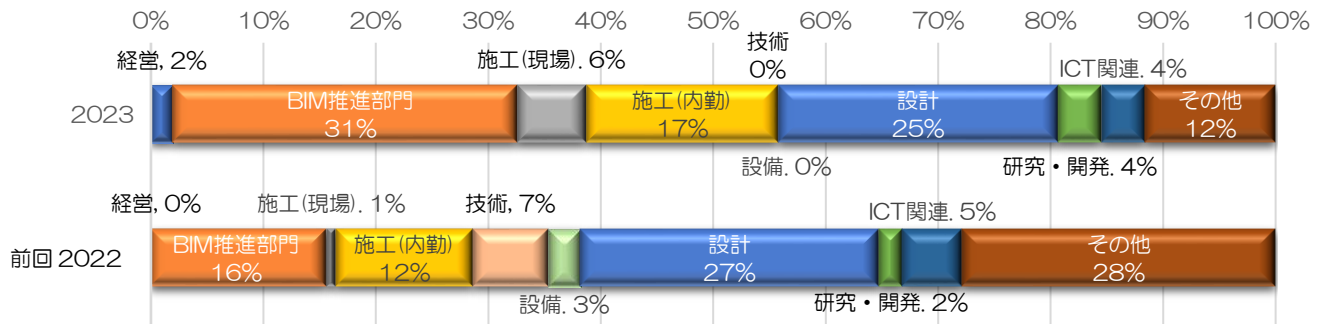
1. 参加者(アンケート提出者)の所属会社について [%]



○2023「その他」の内容

- ・官庁・自治体(1%)、ソフトウェアベンダー(2%)、研究・教育機関(1%)、デベロッパー・コンサル(3%)、その他(7%)

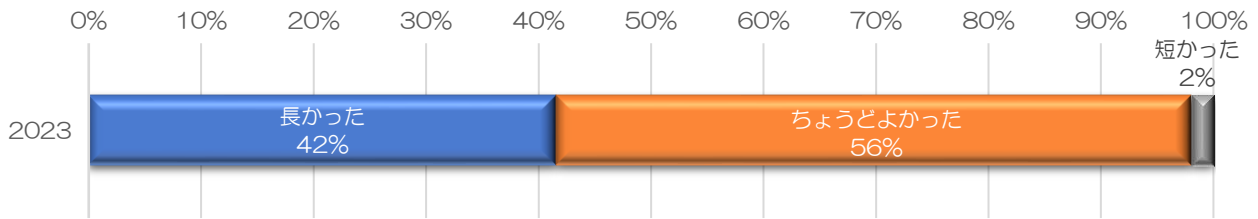
2. 参加者(アンケート提出者)の所属部署について [%]



○2023「その他」の内容

- ・営業(1%)、企画(1%)、建築・事業・工事本部(1%)、積算・見積り(4%)、国際・海外部門(0%)、その他(6%)

3. 講演時間について [%]



講演時間については、『ちょうどよかった』が56%であったが、『長かった』も42%となっており、ほぼ半数の割合であった。

アンケートより、各社の報告時間については、概ね好意的な意見が寄せられた。

ただし、講演時間については、「講演を2回に分けてほしい」また、「後日の配信」を望む意見あり。

○セミナーに関する意見・感想について

■講演時間について

- ・講演を2日に分けてほしい。
- ・事例が多く、長時間に感じた。
- ・長時間だったため、すべて参加することが出来ず、オンデマンド配信などあればと思います。
- ・各社の報告時間は聴講するのにちょうどいい時間でした。

■公開方法について

- ・出来れば期間を設けてアーカイブ形式で見られるようにしていただくと有難い。
- ・途中で業務が入ってくるため、後日パート別に動画をアップして頂けると幸いです。
- ・資料を公開していただきましたが、動画もオンデマンドで視聴できるようにして頂きたい。

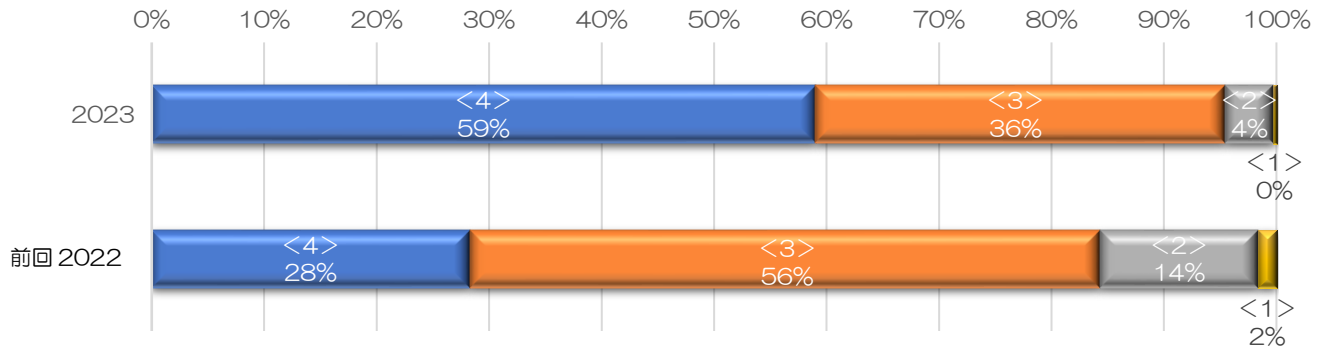
■発表方法について

- ・活用毎にグルーピングされていると、聞かるときに意識しながら聞けると思います。
- ・できれば一社ずつ質疑の時間を設けた方が、理解がしやすいと思います。
- ・zoomの機能にQ&Aがあるので、登壇者でなくとも関係者の回答でOKとすることもできると思われます。
- ・発表中にzoom画面に発表者の会社名を表記してほしい。
- ・MCの方の顔を見て話を聞きたい。
- ・公開されている資料と、発表のページが食い違っている発表が気になりました。

4. セミナーの参考度について [%]

凡例：参考度（4段階評価）

参考になった ← 4 — 3 — 2 — 1 → 参考にならなかった



○セミナーに関する意見・感想について

■参考度について

- ・多くの事例を聞くことができ、非常に有意義なセミナーでした。
- ・継続的に情報発信頂けるのはありがたいです。
- ・元請け会社各社の施工 BIM への取り組みが格段と進んだことを確認しました。
- ・出来なかったことも含め現場のリアルがわかり、大変勉強になりました。
- ・各社の BIM への取り組んだ状況がわかり、当社での運用方針に活かせると感じました。
- ・資金や人的資本を充てる余裕のない企業にとって、今回のようなセミナーは非常に参考になると考えます。
- ・BIM の推進には、関係各社の目的意識の共有が重要だと感じています。
- ・大手は人材確保もできて、ソフトの自社開発も進めており、差が大きくなっていくように感じられました。

■今後期待する内容

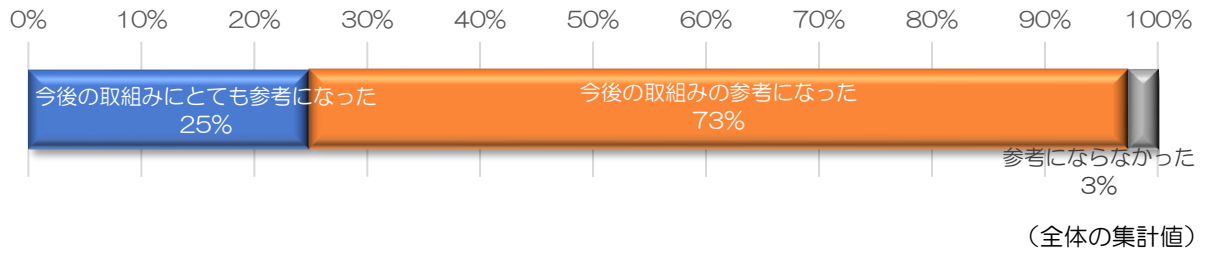
- ・取り組み事例の紹介に加えて、課題もご説明していただけるとより参考になります。
- ・発注者への理解、費用対効果の提示案などあればよい。
- ・設計施工案件が多かったので、分離発注の時にどこまで BIM ができるのかを知りたい。
- ・設計図や施工図など図面の作成・進め方・3D を 2D 化した時に表現が難しい場合の対策などについても説明が頂ければ幸いです。
- ・モデルの形状利用のウエイトが大きいように感じました。BIM の情報基盤としての取組事例がもっと出てきて欲しいと思います。

■設計施工での利用について

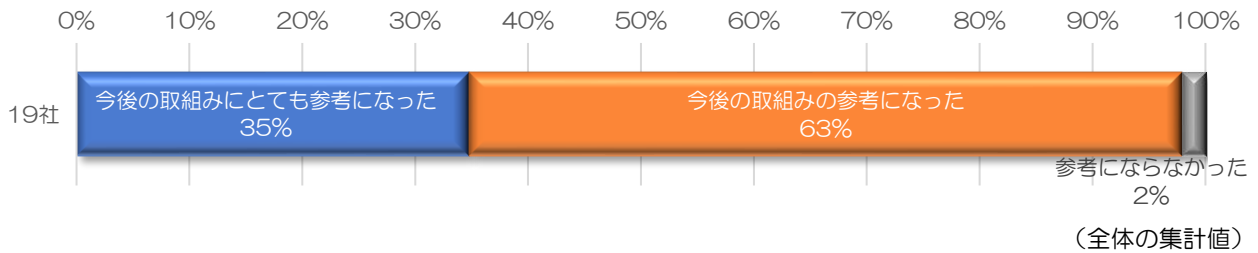
- ・設計のワークフローの意識改革がなければ BIM は間違いなく上手くいかないことを再認識できた。
- ・設計施工での利用は、施工 BIM が設計段階で入ってくるとかなりメリットが生まれそうだと感じました。
- ・設計モデルから施工モデルへの引継ぎへの準備、仕様追加、変更、修正作業がイメージできました。
- ・作業所長が自ら BIM マネージャーとなり多くの関係者とともに BIM を活用している事例に感銘を受けました。

5. セミナー個々の発表について

【日建連報告】



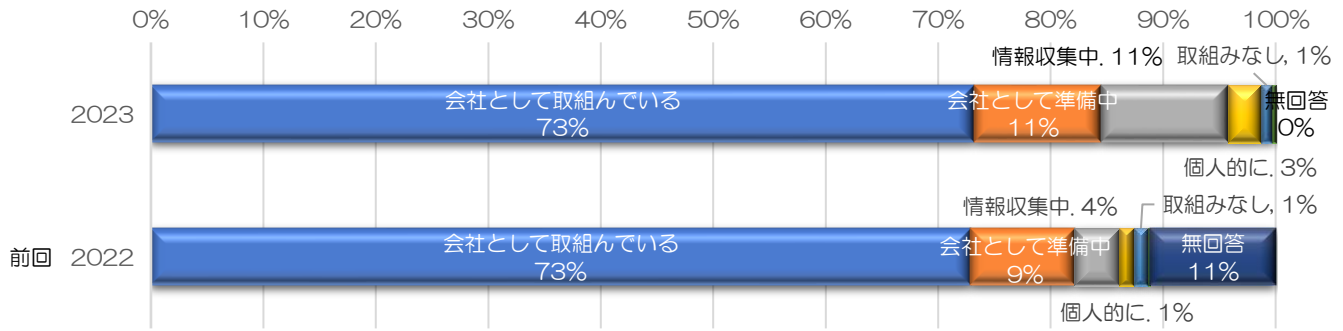
【事例発表】



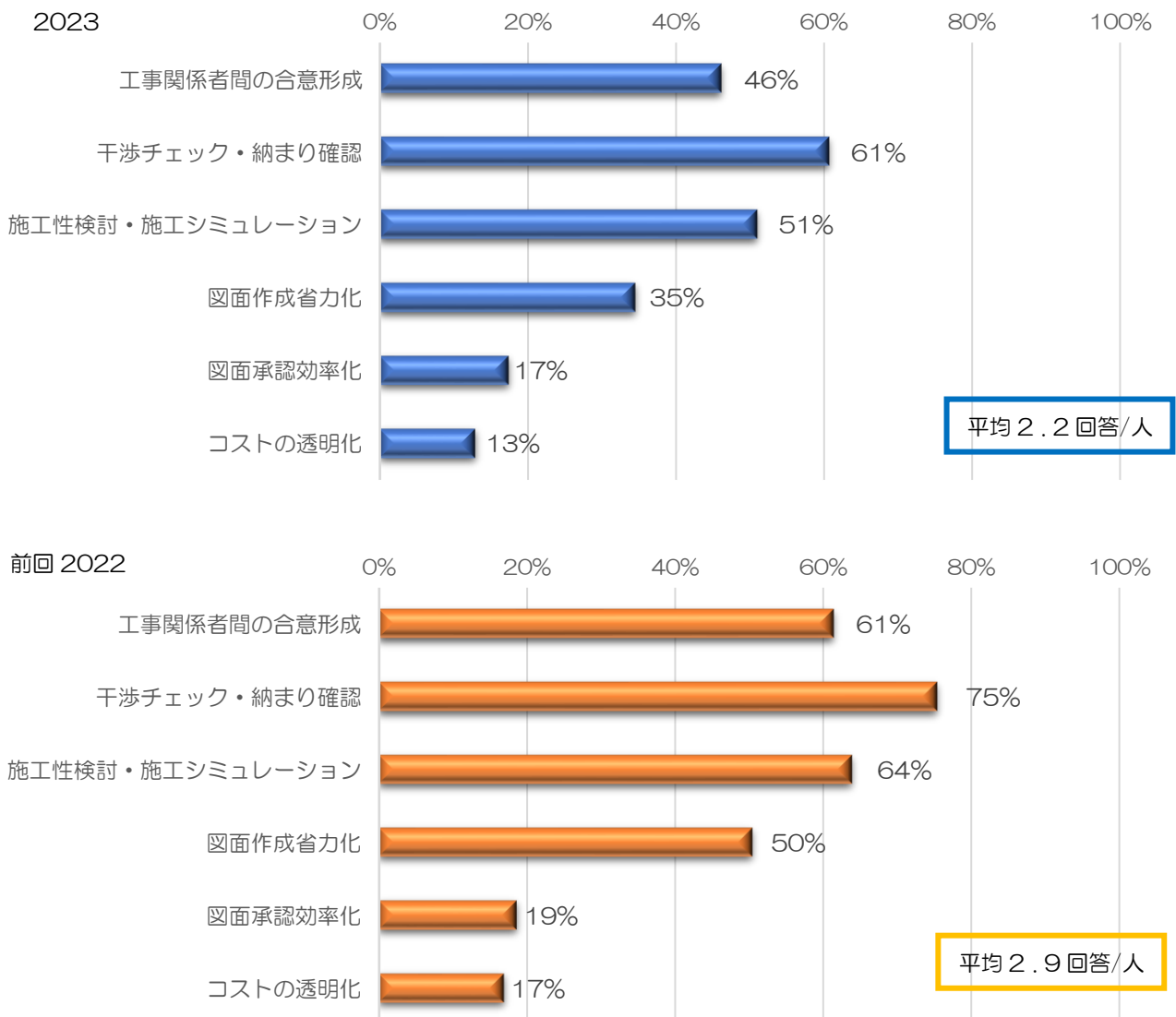
■高評価を得た事例発表の考察

- ワークフローに沿ったビジュアルな説明で、つくり込み過程がわかり易かった。
- 効果的な動画の活用を行っていた。
- 設計から製作・施工管理までの BIM の一貫活用がされていた。
- BIM による承認を行っていた。
- BIM 推進を牽引した作業所長による発表であった。
- 設計 BIM レビュー、引き渡しなど、設計 BIM 連携の具体的説明がされていた。
- 活用ポイントを具体的に説明していた。
- パラメトリック手法の具体的な説明を行っていた。
- 専門工事会社との製作までのデータ連携の具体的説明がされていた。

6. BIMの取組みについて



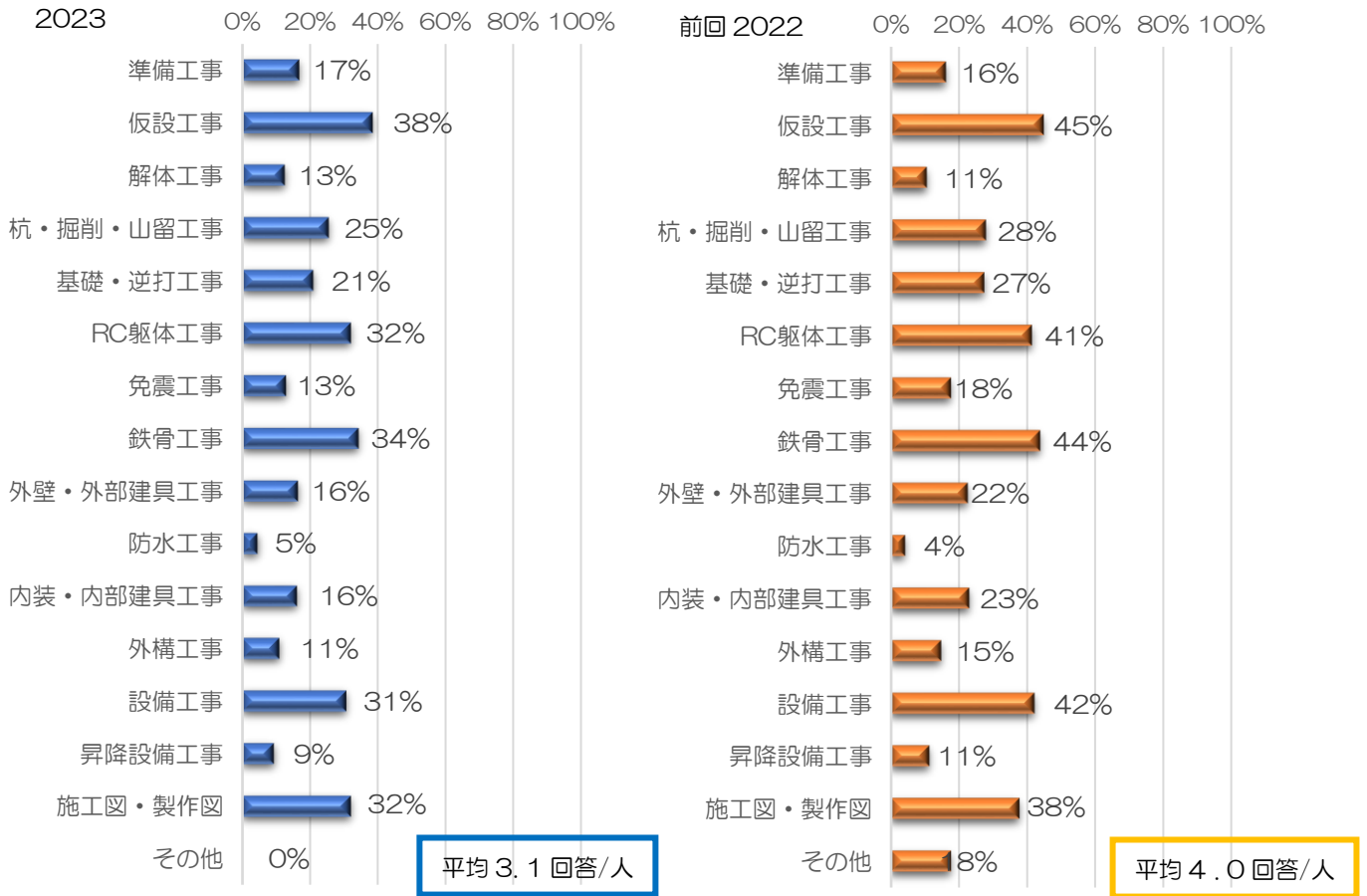
7. 施工 BIM の目的（複数回答）



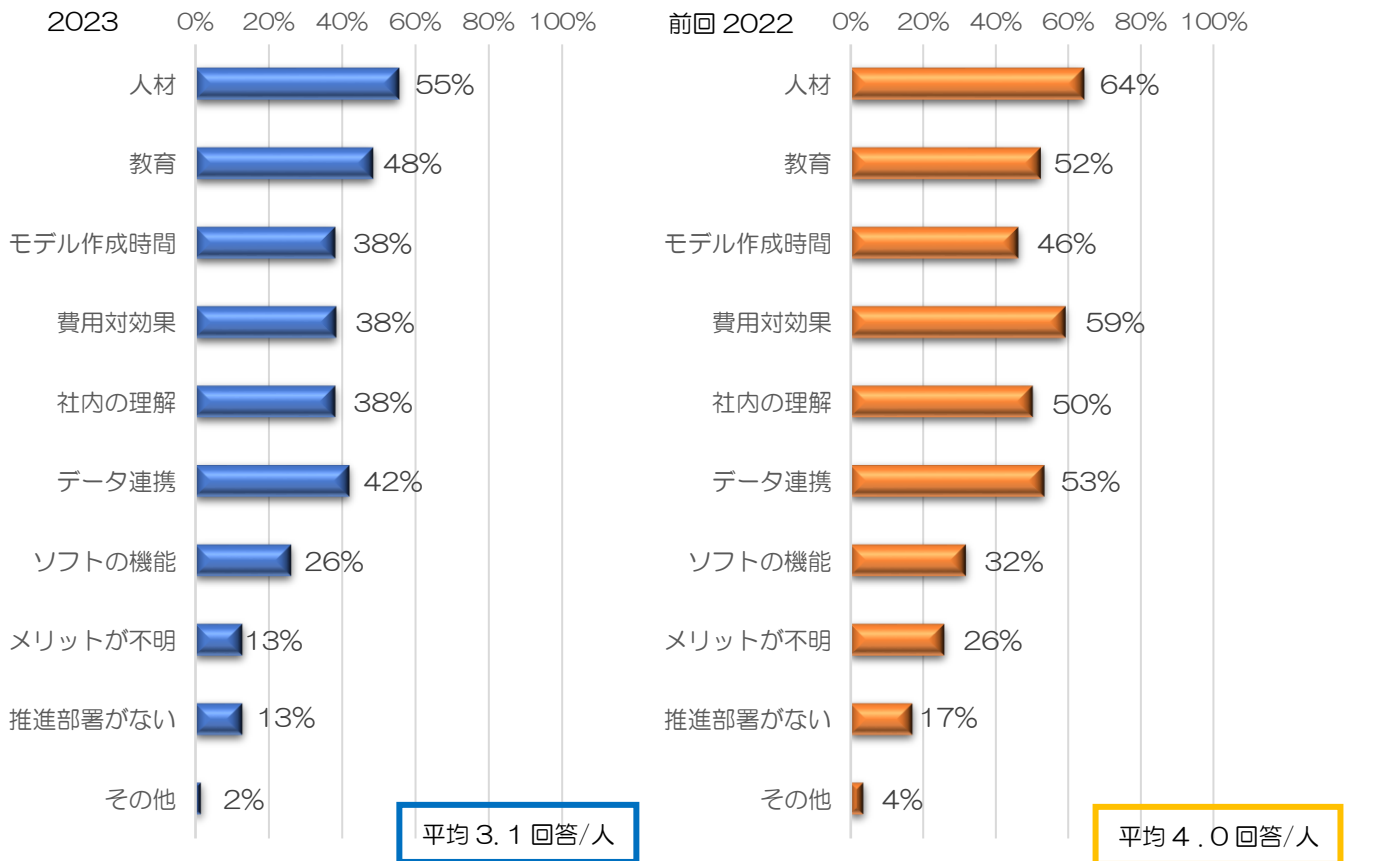
『会社として取り組んでいる』は73%と昨年度と変わりはないが、『会社として取り組んでいる』および『情報収集中』が若干増えており、BIMを取組む動きがみられる。

また、施工 BIM の目的では、1人あたりの回答が、平均2.9から平均2.2と減少しており、目的を絞った取組み実施の傾向がみられる。

8. 施工 BIM の工種（複数回答）



9. 施工 BIM の課題（複数回答）



10. その他、「日建連の BIM に関する活動への意見・感想」「BIM への取り組み推進にあたって日建連に期待すること」等ありましたら、ご自由にご記入ください。

「日建連の BIM に関する活動への意見・感想」

■活用事例について

- 数量積算への活用事例をもっと知りたいです。
- 地方中小ゼネコンの活用事例をお願いしたいです。
- 中小企業での取り組み推進について指針となるような事を発信していただけると助かります。
- 中小ゼネコンの取り組みも紹介していただくと有難いです。
- サブコン等専門工事からの視点でのセミナーがあるとありがたい。
- 日本国内だけでなく、海外（アジア・欧米等）BIM の運用・普及状況を知りたいです。
- 維持管理段階へのデータ受け渡しについて、デジタルハンドオーバーのユースケースをご教示お願い致します。
- 組織体制や使用ソフトなどが共通で紹介されていましたが、その様な情報を集計して公開して頂けたら参考になり助かります。

■セミナー開催について

- セミナーの回数を増やしてほしいです。
規模を縮小・業種細分等して一般のユーザー参加型にして、情報収集等が行いやすいようにしてほしいです。

■その他

- BSJ や建設 RX コンソーシアム(内の生産 BIM 分科会)等と密な連携で活動頂けると、国交省の BIM 加速化事業も始まっていますので、より連帯したスピード感が出るのではないかと思います。

「BIM への取り組み推進にあたって日建連に期待すること」

■標準化・共通化

- 施工 BIM 及び維持管理モデルの共通ルール化への取り組みに期待します。
- ファミリ等が営利目的ではなく共通で使える環境が業界でほしい。
- IFC データ形式を基準に取り扱えたら等、BIM を続けていく為の業界全体での推奨する標準化したルールができていければ取り組みやすい企業が増えるのではと感じました。
- BIM を建設業界として推進していくためには、各社ばらばらではなく、ある程度モデリングルールが統一されているとよいと感じました。
- 建築 BIM の規格標準化の動きなど次回ご教示をお願いいたします。
- 業界標準化と専門工事会社の参画促進へのご尽力を引き続きお願いいたします。

■開発の推進

- 実際に BIM 活用・研究をされている側からの意見をアプリ開発側に伝達する等の活動を期待しております。

■教育・補助について

- 施工 BIM をするにあたって、人材不足の懸念があります。補助金等の補助があれば助かります。
- 当社では、BIM の専門知識を持つ者が人材不足しております。BIM マネージャーや BIM オペレーターの育成目的のような BIM を学べる講習会など開催されていますでしょうか？

■施主への BIM のつなぎ方について

- 御施主さんが積極的に求めるようになれば自然と普及すると思います。
ぜひとも、御施主さんとなることの多いデベロッパーや不動産会社等へのアプローチの強化、および求める BIM とはどのようなものか擦り合わせていただくと幸いです。
- 積上げ型のままでは BIM モデルの更新に時間がかかり、共通データ環境も有効に利用できずコストが嵩むだけです。
施主・設計・施工のプロセスを最終的に変えなければ、いつまでも部分的に使用する BIM になると思います。